

令和2年度 事業計画

(1) 総括

- ① コロナ対応を優先しつつ、図書館機能の復帰と充実を図る
 - 1) 感染防止環境を配慮した、行事・講座・図書館利用サービスの再開
 - 2) コロナ後の図書館運用の見直しと対応検討
- ② 重点取り組み
 - 1) 利用者に優しい図書館(障害者に、高齢者に、お子様に、バリアフリー志向で)

取り組み継続

(2) 経営目標推進計画

事務局からの説明のとおり、5つの経営目標に沿った形で、令和2年度事業計画の報告をいたします。(各目標からテーマのキーワード抜粋)

① 知と憩いの拠点

【目標1】地域の「知と憩いの拠点」を担う施設であることを認識し、社会教育、生涯学習の支援を意識的に行うこと。

- ・定例事業、企画事業の実施 → 郷土史 講座、本の修理講座、等の実施
- ・調べる学習の取り組み実施 → 三田市地域コンクール実施、学習教室、
生涯学習支援の一環
- ・特別展示室の運用 → 利用の呼びかけを行い、有効活用を目指す
- ・ボランティア活動募集 → みんなで作る図書館、参加者の自己実現の支援



② 高齢者や障害者が利用しやすい環境づくり

【目標2】高齢者や障害者が利用しやすい環境を実現すること。

- ・読書バリアフリー法対応 → 他館ベンチマークと機能強化を実施
- ・電子図書館のコンテンツ充実と利用者講習会の開催による、面白さの認知度を拡大



③ 子どもの読書推進、子育て支援

【目標3】子どもの読書推進、子育て支援を目的とした自主事業を積極的に展開すること。

- ・おはなし会、手作り講座、ライブラリークイズ、一日図書館員、読書通帳、等
→ 読書、図書館への親しみを感じていただき、読書推進、図書館利用の定着を図る



④ 図書館員の資質及び業務水準の向上

【目標4】図書館員の資質及び業務水準の向上を目的とした研修を計画的に実施すること。
また第三者の実施する研修にも図書館員を積極的に参加させること。

- ・認知症サポータースタッフの全員取得に向けての取り組み (昨年度取得率:75%程度)
- ・熟練度別の研修受講により、個人スキルアップの推進
- ・図書館運用の本館より分館・分室への機能分散化、多能化により、運用効率のアップ推進



⑤ 移動図書館業務

【目標5】定期巡回(毎週金曜日)以外に、移動図書館を活用したアウトリーチ事業の充実を図ること。

- ・移動図書館「ひだまり」号の定期巡航サービス継続、および、依頼による出張サービス



⑥ その他

- ・3館とも、休館中に蔵書点検完了の為、今年度の長期休館は、本館 LED 工事のみ
- ・令和2年度図書館アンケート実施、リサイクルブックフェアを実施
- ・昨年度コロナ対応の為未実施となった、図書館 30 周年事業の実施

